



# Message

第 17 号

2015. 7. 24

＝メッセージ＝

島根県立島根中央高等学校  
島根中央高等学校PTA広報委員会

## 島根中央高校の魅力化に寄せて

島根中央高等学校PTA会長

福井義信



いよいよ夏本番となりましたが、皆様益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年も全国三十六校の中学校より県外生二十二名を含む七十六名の新入生が入学してくれました。県内外各地の生徒が在学していることは、今や島根中央高校の大きな特色といえるでしょう。

全校生徒は二一六名。十一都府県七十二校もの中学校より集まっており、県外生は四十五名にもなります。これは、県下でも二番目の多さです。このことは、魅力化につながる素晴らしい特徴だと思えるのです。親元を離れ、自らの目標達成に向け、信念を持って頑張っている生徒の姿に、地元生徒達も大いに感化されることでしょう。全国各地の多様な環境で育ってきた子ども達が多感なこの時期に勉学を共にする時、そこには気づかない高め合いがあり、大きな意味があると思います。互いに刺激し合って成長していくことが出来る。これが島根中央高校です。

この子ども達が、島根中央高校での三年間の生活を終えた

時、「この学校で学んでよかったな。」また保護者も「島根中央高校に通わせてよかった。」そんな思いを持ってもらえたならば、七十二もの地域で島根中央高校の良さをPR出来るのです。それも大きな強みだと考えます。

今、川本町より県の交付金を合わせ約一三〇〇万円の支援を受け、島根中央高校の魅力化に向けた「まちごとキャンパス構想」が策定され、様々な取り組みが進められているのをご存知でしょうか。その中にある島根中央高校の「目指すべき将来像」の基本方針には「多様な生徒へのきめ細かい対応」「授業改善による学力の向上」という目標があります。このことが学校として実践されていくことは、保護者として頭が下がることです。この実践が実を結び、子ども達が「島根中央高校で学んでよかったな」と思っただけでも卒業して行けるよう、PTAとしても支援をしていかなければならないと思っています。



## 高見敏彦前校長先生

島根中央高等学校教頭

立石祥美



高見先生は、平成二十五年四月、校長として本校に着任され、今年一月八日、闘病ののち逝去されました。

高見先生が着任された年の入学生が三年生になります。一年生には、県内外の本校説明会で、高見先生のお話を聞いた生徒や保護者さんも多くおられます。来年の入学生は先生を知らない皆さんになりますので、この機会に高見先生のことを書いておきたいと思えます。

昨年のこの時期、高見先生は携帯用の点滴をつけながら校務を行っておられました。食事もとれず、栄養ゼリー一つを何回にも分けて飲みながらの執務でした。

しかし、そんな状況でも判断にミスがあつたり、校務に支障があつたりは全くありませんでした。部活動の応援にも出かけられ、高見先生の体調の異変に気付いた生徒はおそらくいなかったのではないかと思います。

日ごろ全くそのようなそぶりを見せられない高見先生でしたが、昨年一学期の始業式・終業式の講話は、それまでにな

く、「自身の病状への思いを感じさせる内容でした。始業式では、「植物はDNAどおりにしか育たないが、人間は「意思の力」で遺伝子に逆らうことができるのだ」という生物の教員らしいお話をされ、「私も自分の意思の力を信じている」と話を結ばれました。

また、終業式では、一学期の部活動の活躍の素晴らしさに触れて、「頑張る、とは自分自身と闘うこと。君たちも自分の弱い部分と向き合って欲しい。私も闘う」と話されました。

その終業式から一か月後、二学期の始業式を前に入院・休職され、新任校長として、十月末に福岡現校長先生が着任されました。その知らせを聞いた高見先生は、「願ってもない人事だ。」と、本当に喜んでおられました。

高見先生は、いつも「生徒の夢を応援する、そして夢をかなえる学校にする」と言っておられました。十二月末、二学期終了の報告に病室に行つたとき、「三年生は卒業できそうか。みな卒業させてやってくれ」と言われたのが最後になりました。



# 平成二十七年 度 P T A 総会開催

五月九日(土)

五月九日(土)平成二十七年 度 P T A 総会を開催しました。学校 状況説明、平成二十六年 度 事業 報告、決算報告、監査報告、平成二十 七 年度 事業 計画(案)、予算(案)が 審議され、原案どおり承認されま した。役員改選では、前年度役員 の皆様に、委員会活動の思い出話 や生徒の成長や高校の発展を願 う思いなどを話していただき、新 年度役員の皆様には P T A 活動 に向けての抱負を語っていただ きました。



## 平成27年度PTA新役員

会長	福井 義信
副会長	左田野 晃
監事	大島 浩樹
	福間 悦子
	大屋 俊行
	杉本 政輝
	的場 剛
	多々納 広人

# 平成二十七年 度 第一回 P T A 評議員会開催

四月三十日(木)

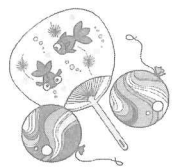
四月三十日(木)に P T A 総会 に先立ち、P T A 評議員会を開催 しました。総会に提案する議題に ついて話し合いました。また、委 員会別に集まり、各委員会の今年 度の活動について協議しました。

## 委員会構成メンバー

委員長	瀬上 克司
副委員長	河田 将茂
担当副委員長	左田野 晃
委員	杉本 政輝
	湯淺 真司
	佐々木 一彰
	小岩 玲奈
	菅原 真吾

委員長	服部 純一
副委員長	柳光 良恵
担当副委員長	大屋 悦子
委員	多々納 広人
	佐賀留 美子
	基田 さつき
	渡邊 香織
	宅和 明美

委員長	的場 剛
副委員長	金川 めぐみ
担当副委員長	島田 浩樹
委員	細谷 松栄
	寺本 竜治
	大谷 美希
	奥野 晴之
	依 芳徳
	大屋 裕二
	佐藤 龍美
	三宅 康二
	中嶋 美砂



# 第57回 中国・四国地区高等学校 P T A 連合会大会岡山大会に参加して

副会長 左田野 晃

七月十日、晴れの岡山で開 催された第五十七回中国・四国 地区高等学校 P T A 連合会大会 岡山大会に参加しました。中国 九県から約千七百人の参加があ り、大変熱気に満ちた大会でし た。

大会は、開会行事に続き、「私の 歩んだ道」見えないから見えな もの」と題した講演があり、午 後は高校生による発表で、岡山県 立高松農業高校の凛とした「最上 太鼓」、就実高校の優雅な「バト ン」、岡山県立岡山南高校の部員 一三人による「吹奏楽」と、多彩 な内容で会場を魅了しました。

その後は、研究協議として、鳥 取県立倉吉東高校、広島県立松永 高校、岡山県立岡山工業高校の三 校の興味深い取り組みの発表が ありました。三校とも内容はそれ ぞれ異なるものの、P T A と学校 が一緒に進めた取り組み事例で あり、大変参考となるものでし た。

今回の大会で一番印象的だっ たのは講演でした。講師は、竹内 昌彦先生で、小学二年生の時に病 気で完全に視力を失いながら、幾 多の試練を乗り越え、盲学校の教 師となられた方です。定年後も講 師として教鞭を執りながら、精力 的に講演活動なども行い、その謝



# 島根中央高校への思い

今年度、県外からの入学生二十二 名を迎え、現在、全校で四十五名の 県外生が在籍しています。県外から 入学された保護者の方に今の思い を寄稿していただきました。

## 「島根中央高校で成長して いる、昔の甘えん坊」

二年二組 横山宇宙くん 父母 (兵庫 苦楽園中出身)

「島根に島根中央高校ってい う、公立高校の甲子園出場記録を 持っている監督さんが熱心に指 導をしていて、更に地元を挙げて の応援をしてくれている大変野 球に力を入れていてる学校がある ぞ。息子には合っているとと思う よ」と中学の頃のクラブチームの 代表に話を聞いてから、息子の中 では島根中央高校に対する想い が大きく膨らみ、是非行きたいと いう強い希望があり、高校の進路 については島根中央高校に決ま りました。

私は九州の出身で、家内は大 阪の出身という事もあり、島根 県には全く縁もゆかりもない状 況でしたので、正直不安が大き い中での決意でしたが、七月末 のオープンスクールに同じチー ムのメンバーと一緒に参加させ て頂き、野球の環境や教育方針 についてのお話を伺い、又普段 過ごしている西宮には無い雄大な

自然環境を拝見することで、「三年 間、大好きな野球に集中できる 環境であり、親子ですっと夢を 見ていた甲子園を目指す事がで きる学校だ」ということを確信 しました。

そして、地元の仲の良い野球仲 間の三名と一緒に島根中央高校 に入学をさせて頂きました。さ すがに寮で西宮から旅立った 時は「がんばれよ」と言葉では 発しましたが、心の中では本当 寂しく感じ涙が出ました。

しかし、その様な親の心配とは よそに、小さな頃は少しでも親の 姿が見えなくなったら大泣きし ていた息子が、島根中央高校に入 学してから親に甘える事もなく、 自分の意思でしっかりと自らの 夢に向かって努力している姿に、 「地元の高校に行っていたら、こ んな風にはならへんかったやろ な」と家内と話しておりました。

今では、度々川本町にお伺いす ることも多くなり、父母会の方々 や地元の皆様にも大変お世話に なっており、片道三五〇kmとい う道のりも近く感じる様になり ました。

その様な、兄や先輩たちの姿や 話を聞くうちに、中学三年の次男 も島根中央高校を強く希望する 気持ち芽生えたようで、これか らも長い間、学校の教職員の皆様 や川本町の皆様にお世話になる かもしれないので、家族共々何 卒宜しくお願い申し上げます。



「横山宇宙くんに聞きました」

Q、島根中央高校に入学したき っかけは?

A、中学生の時に所属していたク ラブチームの方に勧められたか らです。

Q、実際の学校生活はどうです か?

A、先輩がやさしくて、野球部も 強くなってきたので、入学し て正解だったと思っています。

Q、何か困ったことがあります か?

A、あえて言えば買い物できる店 が少ないことです。

Q、寮生活はどうですか?

A、親元から離れて生活するとい うことは親の理解や協力がなけ ればできないことだと思いまし た。また、自立した生活ができる ようになることは将来のために も良いと思います。



# 「PTAだよりに寄せて」

二年一組 稲角佳那子さん 母 (兵庫 伊丹南中出身)

娘が島根中央高等学校へ入学 して、一年が過ぎました。 娘がこの学校を受験すると言 いた時は正直、大反対でし た。わざわざ親から離れて遠い学 校へ行かなくても、家から通える 高校は沢山あるのに・・・と。

とりあえず、学校見学を申し込 みました。校内を見学させていた だいた時間は、丁度授業中でした。少人数のクラス編成に驚きま したが、先生の生徒一人ひとりに 目が行き届いている点など、少人 数だからこそその良い点がたくさ んあることで徐々に反対する気持ちは薄れました。

中学から吹奏楽部に所属して いて高校でもやるつもりでした ので、吹奏楽部の見学もさせてい ただきました。一つの目標に向か って部員全員が一つになつて一 生懸命練習している姿を見て、こ の学校で学ばせたい、この学校の 吹奏楽部の一員となつて頑張つ て欲しいと思いました。

寮も案内していただき、食事は 三食面倒見ていただけると、寮生 がみんな楽しく過ごしている点 など、ほとんど不安要素がありま せんでした。

実際、入学させていただいて、 友達が一人もない状態でのス タートでしたが、先輩やクラスの方々、先生など皆さんとても良



くしていただいて、毎日楽しく通 わせていただいています。本当 にありがたい気持ちでいっぱい です。

「稲角佳那子さんに聞きました」

Q、島根中央高校に入学したき っかけは?

A、母が卒業生だったことが縁で、 吹奏楽部全国大会出場を知り、興 味を持ちました。学校に実際に来 てみて、決めました。

Q、実際の学校生活はどうです か?

A、町を歩いていても地元の人が 優しい笑顔で接してくれて、本当 にあたたかい町だなと思います。 勉強は自分がかかり頑張らな くてはいけません、部活動に集 中できる環境が整っている学校 だと思っています。

Q、寮生活はどうですか?

A、おかげさまで規則正しい生活 ができるようになりました。

Q、ご家族に何か一言どうぞ

A、世界で一番の自慢の家族です。 私を生んでくれてありがとうございます。



# 部活動結果



## 中国大会

### ■カヌー部

第3回中国高等学校カヌースポーツ選手権大会  
（山口県中湖特設カヌー競技場）

6月6日(土)

男子カヤックシングル500m

第2位 山下翔

男子カヤックペア500m

第3位 山下・高原組

男子カヤックフォア500m

第1位 島根中央高校

(山下・伊藤・森脇・高原)

主将 高原悠太くんコメント

「7月の国体ブロック予選の前哨戦となる大事な大会でした。フォアで1位になったときはうれしい気持ちでしたが、一方で、他チームから追いかける立場となり、より一層、次へ向けて頑張らなければいけないという気持ちが強くなりました。この優勝でチームの雰囲気も良くなり、4人の気持ちが一つになりました。国体ブロック予選、インターハイに向けて頑張りたいです。」



## ■剣道部

第61回中国高等学校剣道選手権大会  
（カミアリーナ6月20日(土)）

個人戦出場 坂根秀哉

## ■陸上競技部

第68回中国高等学校陸上競技対抗選手権大会  
（浜山公園陸上競技場）

6月19日(金)

女子やり投げ

服部未来 36m18

## 山陰大会

### ■野球部

1回戦 島根中央10-0米子北高校

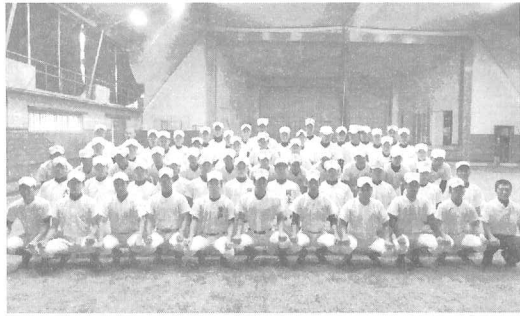
(7回コールド)

準決勝

島根中央4-3鳥取商業高校

決勝

島根中央11-4松江商業高校



## 県総体

### ■陸上競技部

女子やり投げ

正司いのり 35m86 第2位

服部 未来 34m52 第4位

### ■カヌー部

男子カヤックシングル500m

第1位 山下 翔

第2位 森脇 建也

第3位 高原 悠太

男子カヤックペア500m

第1位 山下・高原組

第2位 伊藤・森脇組

男子カヤックフォア500m

第1位 島根中央高校

(山下・森脇・伊藤・高原)

女子カヤックシングル500m

第4位 小畑真樹子

第8位 菅原いおり

女子カヤックペア500m

第3位 山藤・左田野組

第4位 菅原・中平組

女子カヤックフォア500m

第2位 島根中央高校

(小畑・山藤・左田野・菅原)

★山下・森脇・伊藤・高原の4名が8月に京都府で行われる全国高校総体(インターハイ)に出場します。

### ■女子バレーボール部

1回戦

島根中央0-2明誠高校

### ■男子バスケットボール部

1回戦

島根中央59-126浜田商業高校

### ■女子バスケットボール部

1回戦

島根中央16-149出雲商業高校

### ■ソフトテニス部

男子個人

島田・澤津1-4出雲工業高校

堂本・森山1-4横田高校

佐賀・問所1-4出雲農林高校

平田・松村1-4松江北高校

男子団体

島根中央0-3隠岐島前高校

女子個人

安東・山本0-4出雲商業高校

甚田・吉田2-4松江農林高校

渡利・小林4-0瀬摩高校

渡利・小林4-3浜田高校

渡利・小林1-4松江商業高校

敗者復活戦

渡利・小林3-4安来高校

渡利・小林組はベスト32

女子団体

島根中央1-2大田高校

### ■剣道部

団体戦

島根中央1-2出雲商業高校

個人戦

3回戦 柳光佑哉、多々納守樹、

多々納春樹

2回戦

坂根秀哉、夏野一輝、

竹内飛燕

ご声援ありがとうございました

### お知らせ

#### ○PTA奉仕作業

8月9日(日) 7時半~9時

内容 除草作業

○「ええなあまつりかわもと」

「美郷夏祭り」巡回活動

7月25日(土)  
※生活指導委員会と学校教職員  
で行います。

### ○学園祭バザー準備打合せ会

第1回(役員会)

8月6日(木) 18時半~

第2回(役員・評議員会)

8月25日(火) 18時半~

### 編集後記

暑い夏がやって来ました。熱中症にかからないよう体調管理をして、この夏を乗り切らなくては！

県外からの入学者が年々増えて来ています。御家族はお子様と離れて暮らすため、心配事が多いと思います。それでも、この島根中央高校で過ごす事ができて良かった。と言ってもらえるよう、PTA活動を通して、子供達を見守っていきたいです。今回お忙しいところ寄稿していただいた皆様、心からお礼申し上げます。今後も色々工夫して、メッセージをお届けしたいと思います。

